

「歴史文化」を

みつめ・そだて・つなぐ

私達の周りには様々な「歴史文化」が存在しているが、近年これらを地域の資源・財産と捉えて保存する動きや、まちの魅力向上やまちづくりに活かそうとする取り組みが増えている。しかしながら、「歴史文化」を価値あるものとして共通認識することの難しさや、維持・管理していくための費用や担い手の不足といった課題も見受けられる。その中で重要な「歴史文化」が失われつつある現状もある。残すべきものを見極めて、次代へつなぐことを考える重要な時期にきているのではないだろうか。

ここ数年、弊社においても文化財建造物の保存活用や文化的な歴史を有するまちの持続発展を支援する機会が増えてきた。「歴史文化」をどのようにみつめ、そだて、次代へつなぐべきかを考える一つの機会になれば幸いに思う。

文化財建造物の保存活用を考える

愛知登文会の取り組みを通じて

愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会（略称・愛知登文会）が平成二十三年六月に設立された。昨年度より文化庁の「地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」として三つのプロジェクトが実施されている。



所有者の会設立の背景

緩やかな規制により建造物を活用しながら保存を図ることを目的とした登録有形文化財の制度が平成八年にできて十六年。登録件数は全国で九千件弱に達し、各地で様々な活用が進んでいるが、一方で、貴重な歴史的建造物が次々と失われる状況は変わっておらず、登録されたものの維持管理に悩みを抱える所有者は多い。

このような中、登録文化財の保存と活用に係わる活動を行うとともに、会員相互の親睦と情報交換、登録文化財の啓蒙を目的として愛知登文会が設立された。

愛知登文会の活動—三つのプロジェクト

設立にあわせ文化庁の補助事業への応募・採択により三年間の継続事業として三つのプロジェクトが実施されている。

第一は、所有者の意識改革や取り組みを促進していくため、所有者に対するアンケート調査や学習・情報交換の場としての保存・活用講座の実施である。

第二は、こどもの頃から文化財に係わることで将来の文化財に対する理解者を増やしていくため、親しむ機会としての体験事業、さらに文化財について学び、伝えていくガイド事業の実施である。

第三は、地域の観光ボランティアガイドと連携し登録文化財の魅力伝えていく

くため、ガイドに対する見学講習や教材の作成、観光回遊事業の実施である。

これら事業のお手伝いをさせていただいている中で感じたことを記してみたい。

所有者・地域の思いとそれに応える行政

保存活用に至るには様々なケースがある。旧湊屋は所有者の「何とか残すことができないか」という思いが市民団体の設立、建物の登録につながり、市民活動支援金の交付を受けて公開事業が行われている。旧津島信用金庫は市民団体の保存活動が所有者から市への寄付、建物の登録につながり、まちづくりの拠点として活用されている。墨会館は所有者が事業撤退により登録文化財の売却を余議なくされたが、地域の資産としての保存活用の点から市が購入した。所有者の思い

と地域（市民）の思いが重要だ。それを背景に行政が動く。

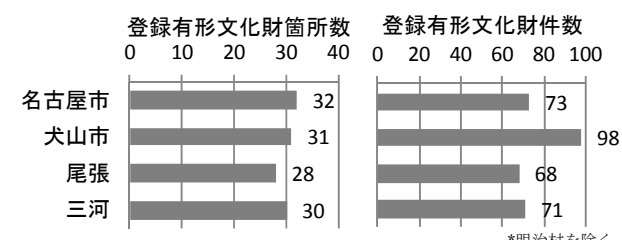
それを面的に展開しているのが犬山市だ。市では城下町の歴史的町並み保全のしかけとして登録文化財への登録に積極的に取り組んでおり、登録文化財を対象とした市独自の文化財保存事業補助金を設けている。この補助を受けて改修工事を行い、新たにテナントが入り、まちの賑わいに貢献しているところが増えている。歴史的建造物を活かした活性化の好事例といえるだろう。

愛着を持ってもらえる地域資産として

所有者は登録文化財であることに誇りを感じておられる点は同じでも、建物公開に積極的に対応いただける方がある一方、公開に消極的な方もみえる。か

愛知県における登録有形文化財建造物の現状

愛知県の登録有形文化財建造物の件数は9月に答申されたものを含めると370件。うち明治村に60件。1箇所所で複数の建造物が登録されているものも多く、箇所数としては明治村を除くと121箇所。その分布は名古屋市と犬山市に集中しており、その他、尾張と三河がほぼ同数。すなわち、名古屋市、犬山市、尾張、三河がそれぞれ1/4程度ずつを占めるという状況になっている。



愛知県の登録件数は全国で7番目に多い。全国1位は兵庫県で、大阪府、長野県、京都府と重要文化財の棟数も多いところが続く。愛知県の重要文化財の棟数は12位なので登録有形文化財建造物の多さが目立つ。明治村があることが大きいのが、犬山市の積極的な取り組みも大きな要因である。その点でみると、重要文化財棟数では全国39位の香川県が愛知県よりも多くの登録件数があることが注目される。

	登録有形文化財建造物		重要文化財建造物	
	件数	全国順位	棟数	全国順位
兵庫	541	1	224	4
大阪	534	2	178	5
長野	420	3	148	7
京都	409	4	914	1
新潟	371	5	72	20
香川	371		40	39
愛知	356	7	76	12



旧湊屋（一宮市）
美濃路起宿の街道沿いの商家の繁栄を伝える大型町家。市民団体「湊屋倶楽部」が管理・活用を行い、湊屋倶楽部茶屋（水・土・日）を開店。



旧津島信用金庫（津島市）
古い町家が残る本町通にある近代建築。所有者から市が寄付を受け、津島市観光交流センター（愛称：まつりの館 津島屋）として活用。NPO法人まちづくり津島が運営。



墨会館（一宮市）
丹下健三設計のRC造事務所建築。艶金興業の事務所として使われてきたが、繊維産業からの撤退に伴い売却。一宮市が購入し、公民館として活用する予定。